

## 第5期亀岡市障害福祉計画の策定に向けて

「亀岡市障害福祉計画」は、法律で作ることが義務付けられている市町村障害福祉計画の亀岡市版です。その中身は、市の障害者施策の基本である「第3期亀岡市障害者基本計画」の障害福祉サービスという部分の数値目標を決めたもので、ホームヘルプなどの訪問系サービスから放課後等デイサービスなどの障害児の支援までの幅広い分野の目標数値を決めています。

現在は第4期目の計画により目標を目指していますが、この計画が平成30年3月末で期間満了となるため、現在、次の計画を作っています。

この冊子をお配りしている時点では、8月29日の亀岡市障害者施策推進協議会（障害者団体、支援団体、福祉施設、学識経験者及び行政の代表で構成）での活発な議論を始めとして、関係事業所等からの聴き取り調査や障害者関係団体等も交えた意見交換会（ワーキンググループ会議）を経て、計画案を練っているところです。

この後、12月27日開催予定の2回目の亀岡市障害者施策推進協議会で計画案の承認を受けた後、市民のみなさんに直接ご意見をいただくパブリックコメントを実施して、計画を完成し、来年4月に新たな計画がスタートします。



8月29日開催 亀岡市障害者施策推進協議会の会議風景



11月13日開催 ワーキンググループ会議の様子

## 活動団体紹介 ①亀岡市身体障害者福祉協会

市内には、障害者やその家族及び支援者で構成される障害児者団体がいくつかあります。その団体の役員にインタビューし、活動内容などを紹介していきます。

まず、自己紹介をお願いします。

亀岡市身体障害者福祉協会の事務局長を拝命しております三浦邦俊です。よろしくお願いします。

よろしくお願いします。では、まず団体の概要をお願いします。

当団体は、昭和58年5月29日設立で、現在の会員数は約200人、身体障害関係団体の4団体、肢体障害者協会、視覚障害者協会、聴覚障害者協会、腎友の会で構成されています。

200人ですか。その人数ですと、活動も大きくなるのでしょうかね。

そうですね。様々な催しを実施又は催しに参加しており、主なところでは、5月頃に障害者スポーツ交流大会、10月にふれあいフェスティバル（亀岡市障害者福祉大会）、11月に京都福祉のつどい、12月に市内量販店前での障害者街頭啓発及び11月から12月の間に亀岡市との行政要望懇談会があります。これでも、本当に一部を紹介したに過ぎません。

たくさんありますね。とても、この紙面では全て紹介できませんね。

そうですね。いずれの活動についても、この協会の設置目的に沿った活動となっています。

その目的とは、どのようなものでしょうか。

身体障害者の福祉の増進、更生相談、助け合い、文化活動から、障害のある人となない人が交流することによる社会参加の推進や地域での安心な生活に関するものまで、非常に幅広い目的を持っています。その中には、会員の皆さんの要望をまとめて市に提出し、それについて懇談する要望懇談会も含まれています。

要望懇談会については、毎年、障害のある人の生の声を聞ける機会として、市も重要な機会と考えております。

ありがとうございます。要望については、一人だと声を発しにくい上に、行政には届かないこともあるので、協会から、これは多数の声だよという意味で要望した方が効果があると考えています。

そうですね。行政としても多数の声となったほうが動きやすくなる面があります。では、最後に、一言お願いします。

1人では届きにくい声も、集団で団体としての要望とすれば届きます。また、障害のある人もない人もお互いの交流方法を学べて、その機会も作れますので、興味を持たれた方はお気軽に相談してください。事務局は、亀岡市総合福祉センター内にあり、電話番号は22-1311です。以上です。ありがとうございました。

ありがとうございました。

## 障害福祉啓発誌

# 障害福祉 NEWS

第2回

## 今年の動き

今年1年間、障害福祉関連では以下のような出来事がありました。

平成29年の障害福祉関連トピックス	
1月15日	亀岡市障害児者を守る協議会主催の新成人・新年を祝う会開催（市長出席）
2月20日	亀岡市障害者就労支援共同センターとの懇談会
4月1日	亀岡市障害者施策推進協議会委員一部改選（任期は平成30年7月31日まで）
4月1日	第5期亀岡市障害福祉計画策定開始
4月1日	亀岡市版手話言語条例の制定検討開始
4月23日	京都ろうあ者大会（ガレリアかめおか）
8月29日	第1回亀岡市障害者施策推進協議会
9月29日	第1回（仮称）亀岡市手話言語等コミュニケーション条例素案作成委員会
10月15日	ふれあいフェスティバル2017開催
10月26日	亀岡市障害児者を守る協議会との懇談会
11月6日	第2回（仮称）亀岡市手話言語等コミュニケーション条例素案作成委員会
11月13日	第5期亀岡市障害福祉計画策定に係るワーキンググループ会議
11月14日	京都府立丹波支援学校との懇談会
11月20日	第3回（仮称）亀岡市手話言語等コミュニケーション条例素案作成委員会
11月27日	亀岡市身体障害者福祉協会との懇談会
12月3日	障害者週間（3日～9日）
12月3日	障害者週間街頭啓発（アルプラザ・西友）
12月27日	第2回亀岡市障害者施策推進協議会（予定）

今年の話題を見てみると、来年に大きく実を結ぶための準備期間として、重要な節目の年になっていることが分かります。

では、その来年に向けて準備を進めている話題を挙げてみましょう。

- ①（仮称）亀岡市手話言語等コミュニケーション条例の制定
- ② 第5期亀岡市障害福祉計画の策定

この2つは、いずれも平成30年4月からスタートするもので、今後の障害福祉における大きな2本の柱となるものです。

さて、どんな具合に進んでいるのか、どんなものなのか次のページから簡単に紹介したいと思います。

(仮称)  
**～亀岡市手話言語等コミュニケーション条例の制定に向けて～**

平成30年4月に「(仮称)亀岡市手話言語等コミュニケーション条例」の制定・施行を目標に、只今、中身について条例素案作成委員会を編成し、検討しているところです。

条例素案作成委員会では、障害者団体やその支援者、相談支援事業者により、幅広い検討が進んでいます。

この条例は、手話をひとつの言語と認め、あらゆる障害者が必要とするコミュニケーション手段の普及を促進することにより、「障害のある人もない人もすべての市民がお互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら生きる地域社会を実現する」ことを目指すものとなっています。

《会議の様子》

条例素案作成委員会は年内に3回行われ、その後に直接みなさんに意見を求めるパブリックコメントを行う予定です。

下の写真は、平成29年9月29日に行われた1回目の会議の様子です。



～さて、皆さんも条例制定に先んじて手話を少し学んでみましょう～

こんにちは



- ①「チョキ」を時計の針（短針と長針）にみたくて、それを額に当て、「12時（正午）」＝「昼」を表します。
- ②人さし指を人にみたくて、向かい合わせにして、お辞儀をしているみたいに指を折り曲げます。

ありがとう



手の甲に反対側の手を直角に軽く当てて拝むようにする。勝利力士の手刀を切るしくさからきています。

～手話で自分の名前を表現してみましょう～

あ	い	う	え	お
アルファベットの(a)	アルファベットの(i)	アルファベットの(u)	アルファベットの(e)	アルファベットの(o)
か	き	く	け	こ
アルファベットの(k)	影絵のきつね	手話の数詞(九)	アルファベットの(b)	カタカナの(コ)
さ	し	す	せ	そ
アルファベットの(s)	手話の数詞(七)	カタカナの(ス)	背が一番高い	「それ」指示代名詞
た	ち	つ	て	と
アルファベットの(t)	カタカナの(チ)	カタカナの(ツ)	(手)そのものを示す	「あなたと私」の(と)
な	に	ぬ	ね	の
アルファベットの(n)	カタカナの(ニ)	手話の(遊ぶ)を示す	「木の根」の(ね)	カタカナの(ノ)
は	ひ	ふ	へ	ほ
アルファベットの(h)	手話の数詞(1)	カタカナの(フ)	カタカナの(へ)	舟の(帆)を形象
ま	み	む	め	も
アルファベットの(m)	手話の数詞(三)	手話の数詞(六)	(目)を形象する	手話の(勿論)を示す
ら	り	る	れ	ろ
アルファベットの(r)	カタカナの(リ)	カタカナの(ル)	カタカナの(レ)	カタカナの(ロ)
や	ゆ	よ	濁音(例・ば) 半濁音(例・ぱ)	
アルファベットの(y)	通気を形象	手話の数詞(四)	横に移動させる	上に移動させる
わ	を	ん	促音(oo-o) 長音	
アルファベットの(w)	アルファベットの(o)	カタカナの(ン)	後ろに引く	上から下へ棒を